

第2回 能美市タウンミーティング

平成29年5月27日（土）19:00～20:15

宮竹コミュニティセンター

※司会進行は東部地区振興会で実施

【東部地区振興会会長】

今日は、昼のお疲れのところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

タウンミーティングを開催するに当たりまして、井出市長はじめ、宮竹小校下の市議会議員の方、市の職員の方、お集まりいただきありがとうございます。

タウンミーティングは、時間が限られております。長い時間できませんので、皆様方にはご理解とご協力をお願いいたしまして、簡単ですが私の挨拶とさせていただきます。

今日はよろしく申し上げます

【司会】

ありがとうございました。手づくりのタウンミーティングになりましたので、いろいろ問題あるかと思えます。後からそういう批判も含めまして我々に教えていただければ助かります。新市長の井出さんをお迎えしています。まず井出市長から講演をよろしく申し上げます。

【井出市長】

土曜日の何かとお疲れのところ、そしてご用事があるところ、こんなに大勢の皆様にお集まりいただきましたことに、まずは御礼を申し上げます。

今日はいろんな話をさせていただければなと思えますし、皆様方からいろんなご意見、ご要望もお聞かせいただきたいと思えます。

このタウンミーティング、選挙期間中に公約として皆様方に掲げさせていただきました。きのうから始まり、きょうは第2回目です。能美市の中には74の町会・町内会があり、それを約12ブロックぐらいに分け、9月までに全て終わるといような計画で進めております。

そして、私の政治信条であります「現地現場主義」、そして「市民ファースト」、この政治信条の礎となるものがまさにタウンミーティングであると思っています。

能美市の最大の課題というのは人口減少であります。10月に人口が約5万人を超えましたが、その後、若干減少し、今は4万9,900人台です。ただ、今後は人口が25年で約2,700

人減るだろうということです。そして、高齢化率は、65歳以上の人が今は25%ですが、将来的には32%になると予想しています。私自身は兄弟3人、私の母親は兄弟4人でしたが、今は1人や2人、多くて3人という状況です。やはりこの少子化が大きな要因となり、今後、人口減少に陥っていくと予想されています。

10年後に向けて、能美市の魅力を発掘・発信していく、人口減少に対して歯どめをかけていく政策について、いろいろなことを考えています。

能美市の魅力を発掘・発信をしていくことについて具体的に申すと、まず1つ目は移住・定住促進をしていくことです。この東部地区に住んでいる方がずっとこのまちに住んでいたいと思ってもらえるようなまちにしていく、あるいは市外・県外からこのまちに移住してもらえるような政策をとって、それによって人口減少に歯どめをかけたいと思っています。それから、最近では各企業さんからなかなか優秀な人材を採用できないというお声を聞いていますので、産業をさらに振興させていく上で、人材の確保につなげていきたいと思っています。魅力を発信していくことでさらに企業誘致を進め、地場産業の振興も図っていく、まずはここが住みよいというだけではなかなか移り住んでくれないし、皆さんもここにずっと住むということにはならないと思います。雇用の場の創出が必要ですし、能美市がいろんな政策を打っていく上での財源の確保という意味でも企業誘致、地場産業の振興を図っていききたいと思っています。

それから、ふるさと愛の醸成ということがございます。宮竹小学校・辰口中学校・県内の高校を卒業した後に、例えば東京の大学に行くことになった。大学を卒業するとき、そのまま首都圏に就職しようと思っている子に、戻ってきてもらえるように、小さいうちから、幼いうちから、この能美市の魅力を伝えていきたいと思っています。それによって、大学を卒業したら、こっちへ戻ってこようと思ってもらえるようにしていきたいです。

これも、ただ単に「ここはいいとこだよ」と概念的に言うのではなく、例えば、このあたりは高校生まで医療費が無料です。電気代が日本一安いです。水道をひねるとおいしい水がたくさん出てきます。それから、優秀な就職先、企業がいっぱいあります。世界に通用する会社、皆さんが優秀な大学を出て、そこで勉強したことを学べるような会社がたくさんあります。このようなことを小中学生のうちから伝え、戻ってきてもらえるようにしていきたいと思っています。それがまさに能美市の魅力を発掘・発信していくということだろうと思います。

今から私にとっての能美市の魅力を少し語りたいと思います。まず皆さんにとって能美市の魅力って何でしょうか。皆さんが住んでいらっしゃる地域にとっての魅力は何でしょうか。皆さんのご家族やご親戚に自慢できるいいところは、どんなことがあるかといいますが、ビデオを見てみましょう。

ビデオに出てきてくれたのは、芸能人ではなくて、辰口中央小学校の子供たちです。

実は、能美市というのは、住みよさランキングは全国上位ですけれども、認知度、魅力度となりますと全国600番台、400番台ということで、あんまり知られていません。

加えて、「のみし」と我々は普通に読めますが、県外の方に漢字をこうやって出すと「のうみし」と呼ばれてしまいます。何とか能美市をPRしたいということで、ポスター5枚とビデオを7本つくりました。

大成町出身であり能美市の観光特使藤田誠さん、アサヒビールのコマーシャルをつくった大変有名な方で、この方に能美市らしさを出すポスターとビデオをつくってくださいというお願いをしたら、能美市というのは子育てのしやすいまち、それを象徴するのは子供たちの笑顔である、そして、能美市の特徴というのも子供たちの笑顔だろうということで、能登町出身の写真家梅佳代さんとこんなポスターとビデオをつくってくれました。

今後、全国にこのポスターを張って、能美市のことをどんどんPRしたいと思っています。

おかげさまで、5月の初めから、様々なところに張ってあります。このポスターの下にはQRコードがあります。携帯電話のカメラで読むとホームページにアクセスできる、そんな仕掛けになっています。能美市のホームページの閲覧回数が伸びており、おかげさまでいろいろな効果が出ております。

私が考える能美市の魅力って何だろうといいますが、例えば子育て環境がいい、福祉や医療が充実している、自然景観がすばらしい、自然災害が少ないということです。10年前に能登半島沖地震で震度4の地震が観測されましたが、それ以後はこの能美市では大きな地震は観測されていませんし、大きな台風がこの石川県を襲おうとしても、霊峰白山が守ってくれるということで、本当に自然災害が少ないところでもあります。

それから、コンパクトで町会・町内会組織がしっかりしている。能美市というのは84平方キロメートルしかありません。そこに74の町会・町内会組織があります。町会長さん、町内会長さんというのは本当にいろんな役割をさせていただいております。まちづく

りから防災福祉活動、本当に皆さんには頭が下がる思いでございます。まさに町会長、町内会長さんがいらっしゃるなければ能美市政も運営できないと、本当に日ごろから感謝をさせていただいているところでもございます。

それから、文化や各種団体の活動が大変盛んであります。例えば辰口福祉会館を予約しようと思ってもなかなか土日や夜は予約がいっぱいで入らないと思います。それだけ皆さんがいろんな活動をされています。それによって、市内のコミュニケーションが深まり、まちづくり等々に関する情報交換がされているというところだろうと思います。

それから、ものづくりのまちということでございます。企業誘致等々の話をしましたが、能美市の工業製品出荷額は県内で第4位、それから人口当たりでは県内第1位であります。それだけものづくりが盛んであるということでもあります。

それから、交通アクセスの利便性が高い。加賀産業道路がすぐそばにあり、それから能美市内全体を見回せば小松空港まで、ここからだとも25分ぐらいです。小松空港まで行けば、羽田にも行けます、札幌、仙台、福岡、沖縄に行けます。台湾、中国、韓国に行けます。金沢駅までここからだとも30分ぐらいであり、新幹線にも乗れるということだろうと思います。

それから、特産品の九谷焼、ユズ、お酒、おいしいお米もありますということで、いろんなものがあるということでもあります。

それから、観光資源が素晴らしい。動物園があり、温泉があります。

大学、高校がありますということで、やはり大学がある市というのは、石川県内の中では4つでございまして、それだけ特徴があるということでもあります。

それから、各種ランキングが上位であるということもあろうかと思えます。本当に能美市の魅力というのはたくさんあると思えますし、これ以外にも皆さんが持っている魅力というのはたくさんあるのだろうなと思えます。

いいことばかりではないのです。課題もあります。財政状況も、実はそんなに明るくはないのです。福祉費がだんだん高騰してきており、今後はその財源をどう確保していくかということが最大の課題になってきます。

それから、アセットマネジメントということで、老朽化した設備を直していかなくてはならないということがあります。

そこに水道の工事が書いてありますが、市内には約430キロの上水道の配管がめぐらされています。それも老朽化してきており、直していく必要があります。全部直す

のに大体100年かかると言われています。市内に穴があいていると皆さんの交通の利便性も損なわれますが、財源の問題がありますので、計画的に直していかなければならないと思っております。

それから、一番よく言われるのは「のみバス」です。自宅前に停留所がない。あそこに行くのに40分かかる。行きはいいけど、帰ってこられない。何とかしろと、本当にたくさん言われます。きょうも皆さんからご意見、ご要望があるのではないかなと思っております。

それから、広域連携の強化です。今後、人口減少に陥っていきますと、能美市単独だけでは行政サービスが行えないところが出てきます。白山市、小松市、川北町などの隣接しているところと広域連携をしっかりとしていかななくてはならないと思っております。

今、申し上げたいいろんな魅力を市内外、県内外にどんどん発信をしていくことをシティプロモーションとっていますが、私みずからもそうやっていろいろ発信をしていきたいと思っております。

1つの事例で、辰口庁舎の正面玄関から入ると広いエントランスホールがあります。そこがもったいないなと思っていまして、市の特産品や、工場製品を飾りたいなという思いもありますし、生け花展や書道展等を開催して、多くの市民の方に市役所に訪れていただきたいと、そんなこともやりたいと思っております。

以上、このタウンミーティングの前に私が考えていることをご紹介させていただきました。今からは皆様方からいろいろご意見、ご要望をお聞きし、お答えをさせていただいて、それをしっかりと市政に反映をさせていただければと思います。

貴重なお時間ではございますけれどもよろしく願いいたします。

【司会】

きょうの参加をいただいているのは市役所の方を除いて約100名でございます。たくさんの皆様からいろいろ質疑応答をしていきたいと思っております。

時間がもしあれば、意見を言う時間を最後に持ってきますので、挙手ください。

① 宮竹町

【司会】 それでは、まず宮竹町から、よろしく願いいたします。

【宮竹町民】

平成4年、北陸先端科学技術大学院大学（以下先端大）に第1期生が入学しました。先端大を核としたいしかわサイエンスパークが県のほうで計画されていますが、現在はどこが主体になってそれを推し進めているのか。また、いしかわサイエンスパークには当初の計画がありますが、それが推進されていないということがかなりあると思います。今後どうされていくのかということをお聞きしたいです。

それに伴った宮竹などの集落に近い緑地帯がたくさんあると思います。市としてはその緑地帯の構想をどのように考えているのか。できれば、遊歩道をつけて、春には山菜とりに入るといったように、人が入ることによって維持管理が大変楽になるのではないかと思います。

【井出市長】

まさに皆さんが一番関心のある課題だろうと思いますし、今までも、それから今回も一番多くいただいた問題だろうと思います。

まず、私が考える今のサイエンスパークの魅力といいますと、まずは先端大を核とした、企業誘致だろうと思います。先端大には、今約1,000名の学生がいて、本当にいろいろな研究をされています。加えて、優秀な教授もたくさんいらっしゃいます。学生・教授に協力してもらい産業を振興できるような、そんな企業を誘致していくということが魅力を最大に生かせることだろうと思います。

それから2つ目は、自然災害などの緊急事態に備えるためのBCP（事業継続計画）とよく言われます。特に東日本大震災の年から、水害に対してどういうふうにもリスク分散をしていくかということが日本の大きな課題になっています。リスク分散において、太平洋側の地域で、将来的に南海トラフが起きるだろうということで、この日本海側が注目をされておりますし、まさにサイエンスパークはその魅力を最大に持っているところの一つだろうと思います。

それから、自然景観が素晴らしいということもあると思います。特に学生からは研究に没頭できるという声も聞こえておりますし、サイエンスパークの魅力だろうと私は感じています。

そして、このサイエンスパークの開発の事業主体は石川県であります。石川県の商工労働部というところに組織がありまして、そこが中心となって企業誘致を進めていますし、我々の能美市の商工課というところが連携してそれを進めているというところです。

実は、これまでもここに企業を誘致する、あるいは工場を建てるという案件があったのですが、最終的には成約に結びついてこなかったということで、今ほどご意見をいただいたことが懸念材料になっているのだらうと思います。

今後は、魅力を県と一緒にあってさらに発信して行って、何とかこの地に企業の誘致を進めていきたいという思いです。

そして、遊歩道のお話がありました。私もこの地に何度か訪れて、車で通ったり、歩いたりしていますが、ここで遊歩道を開発するとなると、管理が大変だろうという思いがあるのが、正直なところ。今後、企業誘致が進んで、このあたりの人口がさらにふえたときに、さらにその利用価値を高めるときに、【宮竹町民】さんのご提案のようなことを考えていきたいと思っています。今は、まずは企業誘致をするということ優先的に進めて行って、それを成就した段階でさらに、例えば住宅の開発を進めるとか遊歩道を設けるといったことを検討していきたいと思っています。

② 灯台笹町

【司会】 それでは、灯台笹町からお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

【灯台笹町民】

東部地区における人口減少の対策について、現在、能美市の人口が5万人のラインを上下しています。人口維持・増に向けて、市当局、特に市長が県内外に能美市の住みよさをアピールするさまざまな策を講じていることは、市民もいろんな情報を通じてよく理解しています。

人口については、12年前の合併時と現時点を比べますと、根上地区が48人減、寺井地区が1,244人増、辰口地区が960人増となっています。辰口地区においては和気校下が550人増、中央校下が670人増となっていますが、一方で、宮竹校下は260人の減となっています。

この現象が続くことが懸念されるわけですが、東部地区における人口増対策が講じられないかということです。小学生の数にしても、和気小は合併時から比べて倍近くになり、1学級の平均クラスも34人となっています。一方、宮竹小はだんだん減っており、約1クラスが24人となっております。

こういうことが続くと、人口増対策に非常に支障をきたすということですが、この地に集客できるようなテーマパークや、周辺から住みたくなるというような環境づくりが

もっと必要だと思えます。

その一つとして、先ほどの【宮竹町民】さんの話にもありましたが、先端大の遊休地の活用ということで、この地は自然環境が抜群であり、動物園や丘陵公園、近くには昆虫館等もあり、一帯で教育研修ができます。前市長は古墳群の整備に力を入れていました。そのように教育群として整備して、全国から優秀な児童・学生の学び舎ができないかと思えます。また、過疎地帯を団地化して、人口増につなげられないか、とにかく住民が希望を持てる政策を講じていただきたいと思えます。

それと、和佐谷の子供の広場を含めた河川敷一帯をテーマパークとして活用できないかと思えます。近くには道の駅があり、河川敷から見える山の景色は、獅子吼高原を含め、素晴らしいものがあります。

水辺プラザとしても利用価値があると思えますし、河川敷の周辺の整備も終わっているようです。国交省も地元から強い要望があれば、活用について積極的に取り組みたいと聞いていると聞いています。

また、団地としても環境が素晴らしいところですが、和佐谷地区については学童の就学のことや岩本町への道路アクセスの不備が指摘されます。また、町独自の方針や思いがあるということは事実ですが、和佐谷は白山市から能美市への入り口でもあります。不便を感じている地元こそ、同じ能美市民の目線で取り組んでいただきたいということでもあります。

それともう1つ、先端大学に体育館ができるということについて質問したいと思えます。

体育館の建設予定地が当初とは異なるということは聞いたのですが、実際にどのあたりにできるのか。建設時期と竣工予定時期はいつになるのか。それから、地域住民が要望して建設につながってきた経緯があると思えます。利用できる地域住民とはどこまでになるのか。国の施設なのでこの辺だけということにはいかないのかなと思えます。

それから、利用料金、使用できる時間帯、あるいは管理責任等はどうなっていくのか。ある程度、形ができてこないと言えないと思えますけれども、わかる範囲内で教えていただきたいです。

【井出市長】

まず、人口減少のお話が最初にございました。私は、この東部地区というのは決して

住みにくいところだと思っていないのです。保育園も新しくなり、小学校も近い、秋になれば各地でお祭りがあるし、皆さんの笑顔がすばらしいし、私は決して住みにくいところではないと思っています。

ですから、私は皆さんと一緒にこの地に住んでいる子供たちにここに住もうよと言って、ずっと住んでもらえるようにしたいなと思っています。

ただ、それが宅地造成ということのお話であれば、まだ皆様方の町内の中に宅地を造成できるエリアがあるのだらうと思っております、そこを開発していくことで定住・移住を確保していけるのではないかと考えております。

仮に、どこかに新しい大規模な宅地を造成したとしても、今の状況だけではなかなか埋まっていけないのだらうと思っております、まずは皆さんと一緒に、「この地は大変すばらしいところだ」、「ぜひ一緒に住もうよ」ということを、伝えていくということが一番大事なことはないかと考えております。

それから、和佐谷のお話がありました。調べましたら、その（和佐谷の子供の広場を含めた河川敷一帯の）土地というのは私有地が多いらしいです。そうしますと、土地の所有者のご理解がないと、（活用を）なかなか進めていけないのではないかと思います。まずは土地の所有者がどんなお考えでいらっしゃるのかをしっかりと聞いて、どうしていくかというようなことを検討していかなければならないと思っています。

それから、体育館の質問がありました。この体育館というのは、先端大の東側にある駐車場に建設する予定です。建設主体は先端大にあります。私どものほうとすると先端大に対して地元からのご要望をお伝えするという段階でございまして、先端大のほうでも具体的にどのように皆さんに使用していただくかということを決めていない状態です。

また皆さん方からいろんなご要望を聞いて、先端大のほうに伝えていきたいと思っています。

完成するのは、今のところ、平成30年の3月末と聞いております。順次、工事が進んでいくという状況ですので、大体の計画が出ましたら、地元の方々にご説明をさせていただきたいと思っています。

③ 大口町

【司会】 それでは、大口町の方、よろしくお願いいたします。

【大口町民】

J A I S T（北陸先端科学技術大学院大学）は（開校して）約25年経過しました。確かにアパートや宿舎はできましたが、立ちどまり感が強いです。学生など若い人たちがいるので、活況が出るような政策を検討してもらいたい。

先ほど話があったように、なかなか企業誘致ができないとなれば、土地がたくさんあるので住宅開発を、ぜひともよろしくお願いいたしますと思います。

【井出市長】（先ほどの話に）1つつけ加えさせていただくとすれば、能美市にワーク・イン・レジデンスというそんな制度があります。実は、動物園の東側にイタリアンレストランですとか、おいしいハム屋さんが出ています。それから、今度、仏大寺にイタリア料理店ができます。この先端大、サイエンスパーク周辺にそんなお店をつくってみたいということも広くPRをしていきたいなと思っております。

④ 三ツ口町

【司会】 次に、三ツ口町から、よろしくお願いいたします。

【三ツ口町民】

「10年後の未来」というテーマで、質問ということですが、私は今後30年までに、起こり得る事象を想定して、その想定のもとで必要とされる取り組みについて考えてみました。まず、新幹線が大阪まで開通します。そうすると、ますます子供が関東、関西へ出て、そのまま県外で就職してしまい、若者が減少します。

私の長男も関西へ出て、そのまま就職しました。三ツ口町内でお子さんが県外の大学へ進学、就職という家は何軒もあり、（さらに増えることが）危惧されます。

新幹線開通に伴って、これはいい意味で、逆に観光客が増加しビジネスチャンスになると思います。

2番目に、農地の保護政策がある一方で、少子・高齢化への対策が必要ではないかと思えます。先ほど市長は（町内にはまだ）宅地のエリアがあるのではないかと聞かれましたが、三ツ口ではその宅地がないので、どうしても野々市、金沢に魅力を感じて、こども世帯が市外へ出られたという事例がたくさんあります。そうすると、さらに加賀地区は高齢化が進んで、限界集落になって、山間部のほうは村自体がなくなるということが

危惧されます。

以上のことを踏まえると、3番目ですが、今後30年以内に、もっと早いかもしれません。太平洋側で大震災は確実に起こります。関東のほうでは70%、富樫断層、金沢のほうでは8%の確率です。もううるさく言われていますので、災害が少ない北陸のほうへ企業を誘致する必要があります。（企業を誘致すると）社員の皆さんもどんどん移住されると思います。

この3つの共通課題は、土地政策です。東部地区・大学の周辺・加賀産業道路周辺の企業誘致・宅地造成を前面に出して、人口増加策をしていただければと思います。

このままずるずる行くと、大震災が起きて、経済特区にならない限りは土地政策が進まないのではないかと思います。誰かが強いリーダーシップを持って進めていく必要があります。大学周辺は県の所有物件の土地である、簿価が高くて払い下げできないなど、いろいろな問題があり進まないと聞きますが、やっぱり経済特区は別としても、土地政策は前面に出してほしいと思います。

【井出市長】

新幹線が大阪までフルで開業すれば、それだけ北陸の人たちが大阪に行く、（県外へ行くという）魅力がふえるのではないかと思います。それを少しでも防ぐということで、冒頭に少し触れましたが、ふるさと愛の醸成をして、また戻ってきてもらえるようにしたいと思っています。

さらに、少し掘り下げた話をしますが、今までは「戻ってきてほしいな」というようなことを概念的に言っただけです。今後はダイレクトメールを送ったり、電子メールを送ったりして、都会にいる、どこに就職をしようかなと迷っている能美市出身の人たちに、ふるさとの魅力を直接発信して、帰ってきてもらえるような機会をさらにふやしたいなと思います。

それから、大阪までフルで開業した場合には、逆に、こちらのほうに（目を）向けてくる人たちも多くなるだろうなと思います。いわれたとおり太平洋側では大きな震災があるかもしれません。それを理由にリスク分散ということでこちらのほうに企業を進出させる、あるいは引っ越しをしてくるという人がいると思います。そんな方々も対象にして、先ほど申し上げたような魅力の発信をしていきたいと思っています。

それから、農地をどうしていこうという話ですが、農工法という法律がございます。それは今まで農地だったものを工業用地にする場合には、農業を振興させるものであれ

ば、その土地は（工業用地として）利用できますよという法律です。それが、（対象業種が工業だけではなく）少し緩和される予定であります。例えばそんな制度を利用して、この地方の魅力をどんどん発信をさせて企業誘致も進めていきたいなと思っています。

⑤ 岩本町

【司会】 それでは、岩本町の代表の方、よろしくお願いいたします。

【岩本町民】

3件、質問等いたします。まず、農地全体を見渡した場合に、根上・寺井地区のほうは非常に平野部が多くて、産業立地もしやすい、そういう状況にあると思います。ところが、この東部地区や和気地区は、森林とか雑木が非常に多い森林ゾーンになっていると思います。

そこで、将来を見据えて、人口増に関しても森林ゾーンを何とかすることが絡んでくるのではないかと思います。森林ゾーンを今後どうしていこうかなということがもし胸の内にあれば教えてほしいと思います。

2件目ですが、この東部地区は白山市からは産業道路からの道（川北大橋）、天狗橋、和佐谷地区の山上郷の大橋、この3つの橋でつながっています。そういうアクセスになっています。私は岩本町に住んでいる関係上、天狗橋から戻ってくるのが非常に多いです。天狗橋というのは、その横に能美市指定の史跡の天狗壁がございます。地域住民の私らは県道沿いの草刈り等をやっているのですが、今後高齢化が進んできますとなかなか（整備に）手がつけられないという状況にあります。小松市は石文化のところでは話が出ていますが、岩本にも石文化というものがある存在するので、（整備についても）やっぱり考慮していただけないかなと思います。

それから3件目ですが、東部地区から中学校へ通学するために、岩内の交差点を通るのですが、その交差点に横断歩道の標識がないので、非常に危ないのです。私も岩内工業団地のほうへ勤めているのでそこを通りますと、ちょうど中学生が同時に通学しており非常に怖いので、横断歩道をつけてもらえたらありがたいです。

【井出市長】

まず、森林ゾーンのお話がありました。能美市というのは、森林面積が約48%になります。宅地造成とか工業用地の造成というお話になりますと、この東部地区においても適切な場所があります。森林を伐採して開発することがいいのか、今の時点ではそうで

はないと思っています。

それとは別に、やはり私は里山というものを大切にすべきと思っています。能美市の自然景観のすばらしさの一つにこの里山があるわけで、私はそこをあえて開発をするよりも守っていく政策のほうを進めていきたいなという思いのほうが強いです。

それから天狗壁の件ですが、岩本にお邪魔した際に、あのあたりを見せていただきました。本当にすばらしいこの壁に木と草が生い茂っている状況も見てきました。

あの場所は県が管理しているというお話も聞きましたし、それから金網が結構張りめぐらされています。あれを見ていると、どうやって整備していけばいいのかなという思いはあります。ただ、あのままにしておくのももったいないなという気持ちはありますので、一度県の土木事務所などと相談をしながら、もう少し何か見られるようにできないかなと思っています。ここは検討材料にさせてください。

それから、横断歩道の件については別の方からも話をいただきまして、先日見してきました。辰口中学校の実態も聞いて、事故が起きないように、何らかの手を打ちたいと思います。

⑥ 長滝町

【司会】 それでは、次は長滝町の代表の方、よろしくお願いします。

【長滝町民】

若い世代が今住みたいと思うというまちづくりを推進すべきだと思います。具体的には、若い世代が恩恵を受けられるような形、水道料とか生活費、住民税などライフ面を援助することをすべきではないかと思います。

もう一つ、長滝町は行き止まりの山間地になります。山間地はいくつか東部のほうでもあります。やっぱり若年層が少なくなっていって、年寄りばかりになっていき、必ず生活にも、町の各行事にも非常に影響してきます。長滝は（集落が）小さくても山林が多いので、大きい面積を持っているのですが、人夫的にだんだん高齢化していき、道路などの維持管理関係においても不安があります。

長滝の魅力は滝というのが一つありまして、七ツ滝があります。それも含めて将来的に市長さんはどういうお考えで、頭に入れておられるのかなというのをひとつお聞きしたいと思います。

【井出市長】

若い世代の方々の負担を軽減するということだと思いますが、結局その負担を軽減した分がどこに行くかということになりますと、市に住んでいらっしゃる人のところに（負担が）行くわけでございます。

私は、そのような政策よりも、例えば希望通りお子さんを産んでもらうとか、それから何か市内で買い物をするとか、そのようなところに手厚く助成をしていければと思っています。

例えば今ですと2人目、3人目のお子さんが生まれると、助成券が上乘せで交付されるような制度があります。それから石川県で実施しているプレミアムパスポートというのがありまして、今までは3人目のお子さんが生まれた家庭が対象だったのですが、2人目のお子さんが生まれた家庭が対象となりいろいろなお店でサービスが受けられるというような制度になりました。やはり希望通りお子さんを産んでもらえるような、そんな制度を充実させていきたいなと、そんな思いであります。

それから、七ツ滝は、私も年に数回訪れており、本当に素晴らしいところだなと思います。それも先ほどから申し上げているような能美市の魅力の一つとして大きく発信をしていきたいなと思っています。

具体的には、観光政策の見直しをしていきたいと思っています。能美市の中で観光ビジョンというのを数年前につくったのですが、それを見直していきたいなと思っております。その中には七ツ滝も入っていきます。七ツ滝の魅力というものを1つだけと言うわけじゃなくて、このあたり全体の魅力の一つとして発信をして、多くの皆さんに七ツ滝を訪れていただけるような、そんなことも取り組んでいきたいなと思っています。

⑦ 宮竹町

【司会】 それでは、宮竹町民さん、よろしく願いいたします。

【宮竹町民】

市長の冒頭のお話にもありましたが、やはり人口減少がどこの地域でも一番重要な課題だと思います。この地域の特色を生かして、人口減少について歯どめをかけられないかということです。この地域には加賀産業道路がありまして、朝でも交通量が多いです。通勤の車が能美市にある大きな会社のほうに向かっていることが多いのですが、その従業員の方に能美市をベッドタウンとして活用してもらうことはできないか。直接的な

宅地造成ではなくても、税制的な優遇などで、移住や、定住化というものにつなげていくことができないのかなというのが一つ提案です。

あと、JAISTは他にはなかなかないところであり、この地域に近いところにあるので、そのキャンパスタウンみたいなものを市として推し進めていくということはできないのかなと思います。

あと、我が家には子供がいます。この地区から金沢方面、小松方面へは、私たちは車があるので移動はしやすいのですが、特に高校生にとってはとても通学しにくいエリアになっています。子供のうちからふるさと愛を（育てていく）というところでは、自然環境はいいのですが、子供たちが高校へ通う3年間で、不便な地域という印象を与えてしまい、働き出したときにはもっと利便性のある地域に行きたいということになってしまうのかなと思います。交通の利便性を高めていただきたいとは思いますが、最終的には人口増がない限りは実現しにくいのだと思います。何をやるに当たっても人口増というのが一番キーポイントになると思いますので、難しい情勢ではありますが、何とか（人口増について）東部地区で推し進めていただきたいと思います。

【井出市長】

まず、岩内工業団地ですけれども、多くの方々がこの土地周辺に住んでいて、働いています。【宮竹町民】さんがおっしゃったのは、県外から働きにきた人たちを対象にできないかなというお話だと思います。実はほとんどが単身赴任であり、やっぱりこの人たちをどうしようかということがあります。

実は、能美市内に工場が竣工した際、その工場の従業員にぜひ能美市に住んでもらいたいということで、企業さんをお願いして住んでもらったという事例があります。しかし単身赴任の方が週末にご自宅に帰りたい、（住居は）金沢駅周辺になってしまうという実態がありまして、その方たちにこのあたりのアパートに住んでもらうということは現実的に難しいのではないかという思いはあります。ただ、将来的にご家族も含めて、能美市に「住んでみないか」、「いいところだよ」というようなことを発信していきたいなと思っています。

能美市には移住政策というのがありまして、家を建てるともらえる助成金の制度は、ほかの市町と比べて見劣りしません。むしろ先進的なところもあります。そこをしっかりとPRしていきたいと思います。

そこから、キャンパスタウン構想がありました。私もこれはとても魅力に感じており、

どうやって進めていくのがいいのかなと考えています。【宮竹町民】さんが描いているものと私が言うことが合致するかわかりませんが、私は先端大の人たちと地域の皆さんとで触れ合う場がふえるということがキャンパスタウン構想の一步なのではないかなと思っています。

実は、先端大の教授の皆さんからもぜひ自分たちの生徒と触れ合う機会をつくって欲しいということをたくさん言われています。それは外国の文化や言葉に地域の皆さんと一緒に触れ合うことで、このまちに先端大があるということを先端大としても何かしらのプラス効果にしていきたいし、貢献したいということがあるようです。国際交流協会さんと相談をしながら触れ合う機会を増やしていきたいと思います。

それから、高校生の通学の問題です。これもバスを運行するための助成金というのは能美市にも制度がございます。それを活用していただければいいと思うのですが、おっしゃるとおり、通学する生徒数が少ないと結果的には親御さんの負担がふえてしまいます。人口をふやすことが先になるのか、負担をもっと軽減するため助成金を出せばいいのかというのは、本当に難しい話です。できるだけ皆さんといろいろなお話をしながら、利用度を高めていきたいと思います。

⑧ 三ツ口町

【三ツ口町民】

一つ目は井出市長さんには、このミーティングを毎年、せめて2期8年ぐらいまで続けてもらえるのかということです。

それから、このタウンミーティングをどのように分析して、どのように発表していくのかということが知りたいです。

【井出市長】

まず、タウンミーティングを開始させていただいたのが、きょうが第2回目ということで、冒頭申し上げたように、能美市内にある74の町会・町内会を11から12ブロックに分けて順次開催していきます。

それと並行して、テーマごとのタウンミーティングも開催したいと思っています。今のところ、婦人団体協議会さん、文化団体さんの予定が入っています。あとは子育て世代や、国際交流協会の方からもぜひ（開催したい）というお話をいただいており、年間24回、月2回ぐらいのペースで（の開催を）考えています。来年も少なくとも町会には

お邪魔させていただくつもりでもおります。

それから、どんな分析をしていくかということですが、タウンミーティングの議事録を作成する予定です。

また、皆さんからいただいた意見・提案で、私がきちんとお答えできなかったことに関しては、後日改めてお答えする予定です。皆さんに見ていただくため、タウンミーティングの内容を公開することも考えています。

それから、冒頭申し上げたように、皆さんからのご意見が私の政策の礎です。今日、十分にお答えできなかったことや、後日、進捗を見るようなこともあると思いますので、そのときはしっかりと皆さんにご報告、相談をしながら進めていきたいと思っております。

いろんな時間や機会を通して、このようないろんな話し合い、相談する機会をふやしていきたいと強く思っていますので、またこんな形でやればいいのか、こんなことを言いたいなという思いがあれば、直接または市長戦略室を通して言っていただければと思います。

⑨ その他

【司会】 その他、何か質問したいという方がいらっしゃればお願いします。

【宮竹町民】

能美市の教育委員会が根上のほうにあります、（本庁舎を）増設して同じ庁舎内に一緒にすることはできないでしょうか。

【井出市長】

私も就任して、いろいろなことを考えた中の一つにそれがあります。

能美市の職員というのは、大きく分けて4カ所に分かれています。辰口の本庁舎、寺井の旧の役場の跡、健康福祉部（健康推進課・高齢者かがやき支援室）があるサンテ（寺井）、それから根上総合文化会館タントのところに教育委員会があります。

能美市市政を円滑にしていくことを考えると、1カ所にまとめる必要があるのではないかと思います、膨大な費用がかかります。教育委員会だけでなくほかにも（分かれているところ）はありますし、それを全て（本庁舎に）持ってくるとなると大変なお金がかかってしまうので、そこは慎重にしていきたいと思っております。

ただ、分かれていることで弊害が起きないように、例えば組織の再編を進めていたり、縦割り行政だと言われないように、職員が一生懸命コミュニケーションをとるようにし

ていたり、いろんなことを今始めているところです。どこかで一緒にやるというのはまだまだ先になるのではないかと思います。

【司会】 もう2人いらっしゃいますのでお1人目の方をお願いします。

【大口町民】

私は7年前に五十何年いた金沢から、大口に移り住んできました。確かに市長さん言うように自然がいっぱいで、螢も見られる、星空も満天です。そのかわり熊もついできますが。

また、先端大の学生さんとの交流はもちつきや山菜まつりで、町会挙げておこなっています。自分はまだ60代で元気で、車も乗れるからこの町はいいなと思います。ただ、いずれ車も返納しなければいけないし、子供たちも県外にるのでいろんなことを先のことを不安に思っています。年をとれば、いずれみんな直面することだと思います。

市長さんとして頑張ってもらいたいという気持ちで、この問題について言いたかったので、お願いします。

【井出市長】

恐らく公共交通機関のことをいっているのだと思います。冒頭申し上げたように、皆さんから「のみバス」を何とかして欲しいというご要望をたくさんいただきます。実は「のみバス」のダイヤやルートは皆さんにアンケート調査をしたり、市の職員が実際にバスに乗ったり、乗車している人からいろんなお声を聞いたりして、設定しています。それでもまだ不便だというような意見をいただくものですから、はてさて今からどうしようかなということを正直、考え悩んでいるところであります。

意見の一つに、いわゆるデマンド型のバスがいいのではないかというお声もあります。「のみバス」は34人ぐらい乗車できますが、サイズを小さくして、細やかに運営をすればいいのではないかと、また必要なときに、必要な場所に行けるようなことを考えられないかというご意見をいただいています。どれくらいそのような意見・要望があるのか、どれくらい「のみバス」を使っていただけなのかということも考慮しなければなりません。

今回、タウンミーティングをしていくことで能美市内全部回りますので、皆さんからいろいろなご意見を聞いて、最終的にどんな方向に進めていこうかということ判断していきたいなと思います。

それから、一部の地域では、地域の方が自分たちで小さなワゴン車を運転して買い物

するところへお連れするという取り組みも始まっていますので、各方面の方々とご相談をして、対応していきたいと思っております。

【司会】 最後に、宮竹の方よろしく申し上げます。

【宮竹町民】

市長はいつも大変にご苦勞されているとは思いますが、行政とは、会社でもそうですが、トップに立つ人の管理が一番大事です。

私、何でもこういうことを言うかといいますと、各課が分かれているためかどうかわかりませんが土地の用途変更の手続きに時間がかかっているという事があるからです。行政として今からのまちの発展や人口増に向けた取り組みなど、いろんなこと言っていますが、このようなありさまではいけないと思います。

もう一つは、アパートの増築をしたいのですが、土地の宅地化の許可がなかなか下りない状況です。

もう少し地域の実情にあった、それぞれの地域でもっと住宅地をふやすとか、企業誘致ができるような施策をお願いしたいなと思います。

そしてもう一つ、大事なことです。先ほど市長が能美市の山林は48%とおっしゃっていました。山林に関して私の独特な考え方あります。持っている山を森林組合と信託を契約して強制的に伐採し、植林、育林していくということです。しかし今、この辺の山を誰も切らないし、切っても植林ができない。そのまま子供や孫の時代になると場所もわからない、境もわからない。これでは山が荒れる一方です。

荒れてくると、手取川に濁った水が流れているように、能美市の河川にもそういう事態が起きるのではないかと思います。また、熊とかイノシシなどの獣害の被害もふえてくると思います。山の管理というものをどうしたらできるのかということ一度、市長とじっくり相談したいと思っております。

【井出市長】

まず、市の行政でいろんなご迷惑をおかけしているようです。そこは一回きちんと調査して、そのようなことが起こらないように是正をしていきたいと思っております。

市役所が分散していることで停滞が起きているようなことがあるのであれば改善していきたいと思っております。

その事例の一つで、違うジャンルの話ですが、例えば介護の件でご相談にいらっしや

った方が、話をするのにいろいろな部署に行かなければならないということがあります。そのあたりはワンストップ解決できるような仕組みを今考えているところです。

それから、外国の方が市役所で、相談しづらいことがあります。英語は通じるが、それ以外の言葉が通じないということで、中国語を話すと日本語に翻訳してくれる装置を取り入れて、市民サービスの向上を図っていききたいなと思ってもいます。

また、いろんな講師をお招きし、スピードを速める、笑顔で対応するといった市の職員のスキルアップための取り組みをしていきたいと思っております。

それから、産業振興、それから宅地の造成のお話がありました。そこもやはり需要と供給の世界であろうと思います。この地にたくさんの方が移り住みたい、企業誘致をしていきたいということが増えていったときにしっかりやっていくということだろうと思います。また皆さんといろいろなお話をしながら、状況を見きわめて進めていきたいと思っています。

森林の件は、【宮竹町民】さんのほうがプロでございますので、私は教えていただく身です。森林組合の方々ともいろいろ協議をしながら、この大切な森林を守り育てていくことを今後も続けていきたいと思っています。

【司会】 それでは、最後になります。閉会の挨拶をお願いします。

【東部市区振興会副会長】

きょうは、本当に土曜日の貴重な時間帯にかかわりもせず、皆様方には本当に多数の方にご出席賜りまして、ありがとうございました。

限られた時間ではありましたが、本当に有意義に、かつ貴重なご意見がたくさん出たと思います。

それからまた、市長さんには公私ともに本当に忙しい中、また連日のミーティング等でお疲れのところ、きょうは本当にありがとうございました。職員の方もありがとうございました。

早速、この質疑を市に持って帰っていただいて、とことん協議をしていただき、そしてまた東部地区の行政に反映していただければ幸いに思っています。